

ネットワーク接続機器・クラウドHEMSサービス 販売状況調査結果

経済産業省

商務情報政策局 情報経済課

調査概要

- ネットワーク接続される機器台数を把握（推測）するため、ECHONET Lite機器販売台数、クラウドHEMS契約数を調査。

【調査項目】

- ECHONET Lite機器販売台数（期間：2016年4月～2017年3月（2016年度））
対象：フルECHONET Lite機器（通信機能内蔵型、専用アダプタ型）、専用アダプタ
- クラウドHEMSサービス契約数（2016年度末時点）
対象：サーバ等を経由してHEMS機能（遠隔制御含む）が提供されるサービス

【ヒアリングにご協力いただいた企業】

17企業

（スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会および普及促進タスクフォース委員企業）

結果

■ ECHONET Lite機器販売台数（期間：2016年4月～2017年3月（2016年度））

製品分類	機器名	通信機能内蔵型	専用アダプタ型	専用アダプタ	ネットワーク 接続比率※
重点8機器等	エアコン	0	約3,620,000	約60,000	約2%
	ヒートポンプ給湯機	0	約230,000	約2,000	約1%
	瞬間式給湯器（ガス、灯油）	約5,000	約180,000	僅少	約3%
	太陽光発電	約40,000	0	0	100%
	蓄電池	約30,000	約4,000	約2,000	約93%
	電気自動車 充電器/充放電器	0	0	0	—
	燃料電池	0	約30,000	僅少	約1%
	照明機器	僅少	約8,000	僅少	約12%
コントローラ	コントローラ	約70,000	0	0	100%

※本体台数合計のうち、内蔵型と専用アダプタの台数の比率

■ クラウドHEMSサービス契約数：約17万件（うち、無償サービス：約11万件）

※2016年度末時点の数値（一部2015年度末の数値含む）

考察

- フルECHONET Lite機器のうち、通信機能を内蔵しているのは約3%、ほとんどの機器が別売の専用アダプタを購入しないとネットワークに接続出来ない状況。
- 住宅購入時に設置するケースが多いと思われる、太陽光発電、蓄電池等に関しては通信機能内蔵比率が高い傾向。
→住宅購入時は、既設と比べて有線LANの配線工事が容易であることも一要因か。
- クラウドHEMSサービス契約数は機器販売台数と比較すると伸びは鈍いが、一定数は利用されている状況。しかし、サービス内容は単独機器の遠隔制御や見える化にとどまる。また、約半数のサービスが無償で提供されており、ビジネスとしては発展途上。